

令和6年9月吉日

核医学検査室責任者殿

RI 検査室責任者殿

ノバルティスファーマ株式会社
公益社団法人日本アイソトープ協会

ルテチウムオキシドトロオチド (^{177}Lu) (ルタテラ静注) 使用後の
回収品 (鉛容器/輸送箱) の返却について (お願い)

拝啓 時下ますますご清栄の、お慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

令和2年5月に発出されております「医療用放射性汚染物の取扱いについて (お願い)」によりご協力をいただいているところではございますが、最近ルタテラ静注においては、遮蔽用鉛容器の引き取りの際、使用済のバイアルが混入されていることに加えて、鉛容器や輸送箱が汚染されているケースが発生しております。

については、別紙の通りルタテラ静注に係る回収品 (鉛容器/輸送箱) の返却手順を記載いたしますので、適切に運用いただけますよう改めてお願い申し上げます。

今後も回収品の返却に際し、医療用放射性汚染物の混入が続く場合は、鉛容器/輸送箱を回収することが出来なくなる場合もございます。

ご面倒をおかけしますが、どうぞご理解、ご協力をいただけますようよろしくお願い申し上げます。

敬具

ルテチウムオキシドトレオチド (^{177}Lu) (ルタテラ静注) 使用後の
回収品 (鉛容器/輸送箱) の返却手順について

① 医療用放射性汚染物と回収品 (鉛容器/輸送箱) を分別する

(ア) 医療用放射性汚染物

ルテチウムオキシドトレオチド (^{177}Lu) (ルタテラ静注) の使用に伴って発生する ^{177}Lu によって汚染された医療用放射性汚染物は、通常の SPECT 製剤による医療用放射性汚染物と同様の廃棄方法となります (素材分別要、核種分別不要) 詳細は、以下 URL に示す「RI 廃棄物の集荷について」の「RI 廃棄物の収納について」をご参照下さい。(https://www.jrias.or.jp/waste/cat1/202-01.html)

(イ) 回収品 (鉛容器/輸送箱)

鉛容器内にルタテラの使用済みバイアルが残ったままになっていないかは必ずご確認ください。

その後にサーベイメーター等による測定を行い、回収品に汚染がないかを確認してください。

回収品 (鉛容器/輸送箱) が汚染されていた場合は、そのまま回収することは出来ません。その場合は汚染除去等により、汚染が検出されなくなりました後で回収品に回してください。

【バイアルが残っている】



【バイアルが残っていない】



② 回収品 (鉛容器/輸送箱) は、PDR ファーマ指定の「資源リユース用コンテナ」に置く
コンテナ内に置く前に再度測定を行い、医療用放射性汚染物が混入していないことを必ずご確認ください。

【回収直前にも再度測定を実施】



【PDR ファーマ指定のコンテナへ】

